

学園創立60周年記念式典の挨拶で新しい教育理念を発表する飛田理事長。石川県立音楽堂コンサートホール



新しい教育理念は「創造」

創立60周年記念式典で発表

アスリート倶楽部創設、東高校改築へ

学校法人金沢学院の学園創立六十周年記念式典は五月二十七日、石川県立音楽堂コンサートホールで、教職員、学生、東高校生ら約千六百人が出席して行われました。飛田秀一理事長は挨拶の中で、建学の精神「愛と理性」を発展的に昇華させた新しい教育理念を「創造」とすると発表し、六十周年の節目を機に、学園の一層の発展に向けて一致奮起するよう促しました。また、記念事業として、「金沢学院アスリート倶楽部」の創設、平成二十一年春をめどに東高校校舎を改築することなどを発表しました。



紹介されるアスリート倶楽部のメンバー

宇宙飛行士の毛利氏講演

飛田理事長は教育理念の狙いについて「生徒、学生一人ひとりの創造力を高め、新たな価値を生み出すことのできる人材を育てたい」と強調しました。

教育理念の具体的なスローガンとして、「ふるさとを愛し、地域社会に貢献する」「良識を培い、礼節を重んずる」「社会の要請に応え、構想する力、実践する力を育む」を掲げると述べました。

アスリート倶楽部は、スポーツにおいて金沢学院の誇る全国トップクラスの教職員、学生が、講演会や競技指導で地域に貢献する活動を展開します。



講演する毛利氏



記念式典冒頭のアトラクションでは、能楽、合唱、吹奏楽、トランポリン、弓道の各々が演奏や演技を披露しました。

午後の特別公開講座では、宇宙飛行士の毛利衛氏が「生命のつながり、我々はなぜ挑戦するのか」の演題で講演し、人類の未来に貢献できる仕事の喜びや挑戦することの大切さを話しました。



形を披露する弓道部員

発行・広報室